

◆今期間のポイント

<主要しょう乱の概要>

- 4日は、高気圧が東日本付近に移動し、低気圧がサハリンの北に進む。
- 5日は、高気圧が日本の東に移動し、東シナ海から日本の南に前線がのびる。
- 6日は、前線上に発生した低気圧が日本の南から日本の東へ進む。
- 7日から8日にかけて、高気圧が日本海から日本の東へ移動し、8日は北日本付近に気圧の谷が進む。

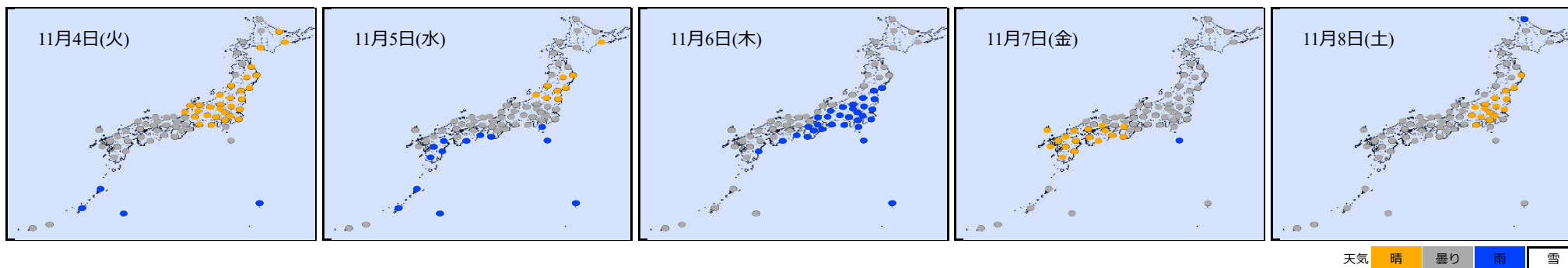
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 5日から6日頃にかけては、九州南部・奄美地方と伊豆諸島では、前線の活動の程度によっては、警報級の大雨となるおそれがある

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

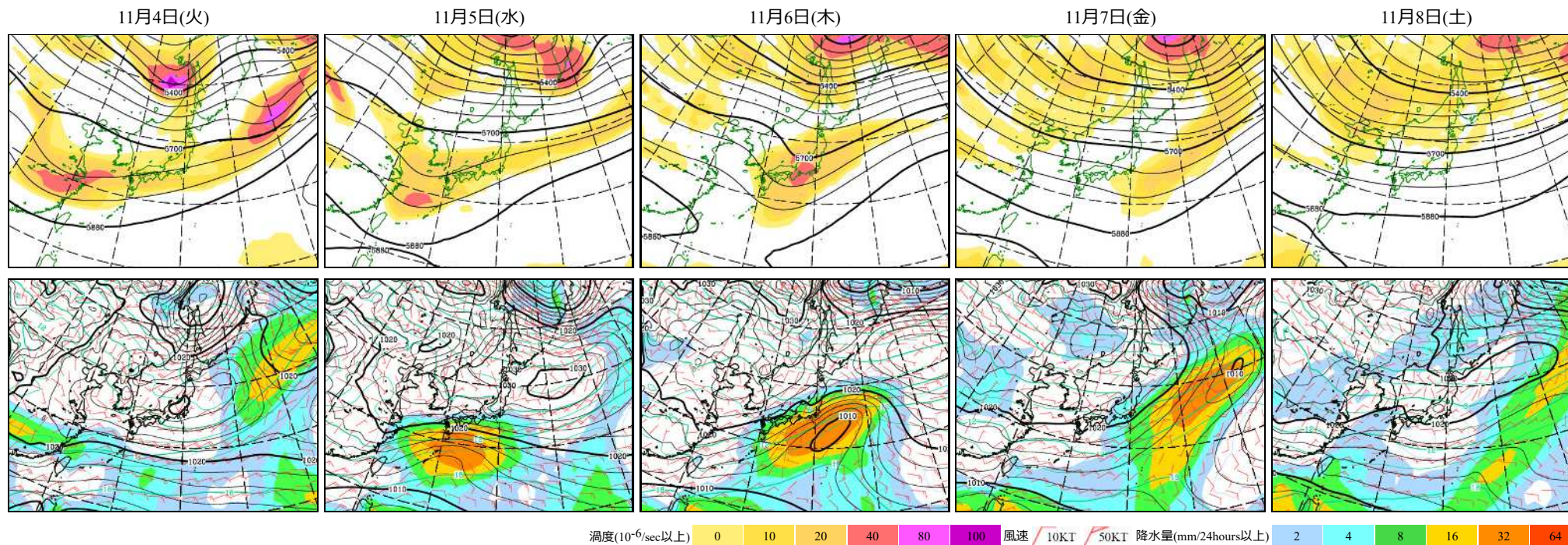
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

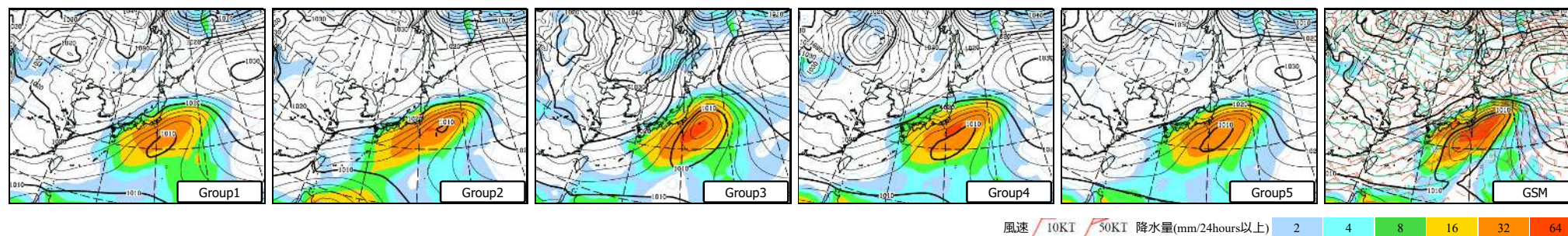


- 北日本は、曇りや晴れの日が多いが、6日と8日は雨の降る所がある。
- 東日本は、曇りや晴れの日が多いが、5日から7日は雨の降る所がある。
- 西日本は、曇りや晴れの日が多いが、5日から6日は雨の降る所がある。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすく、4日と5日は雨の降る所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆11月6日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、4日から5日にかけて日本の東へ移動する高気圧の進みが遅くなった。
- 5日まではモデル間の差は小さいが、6日以降は低気圧や高気圧の位置や勢力にバラツキが見られる。
- スプレッドは比較的小さいが、期間の後半は特定高度線のバラつきが見られる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。